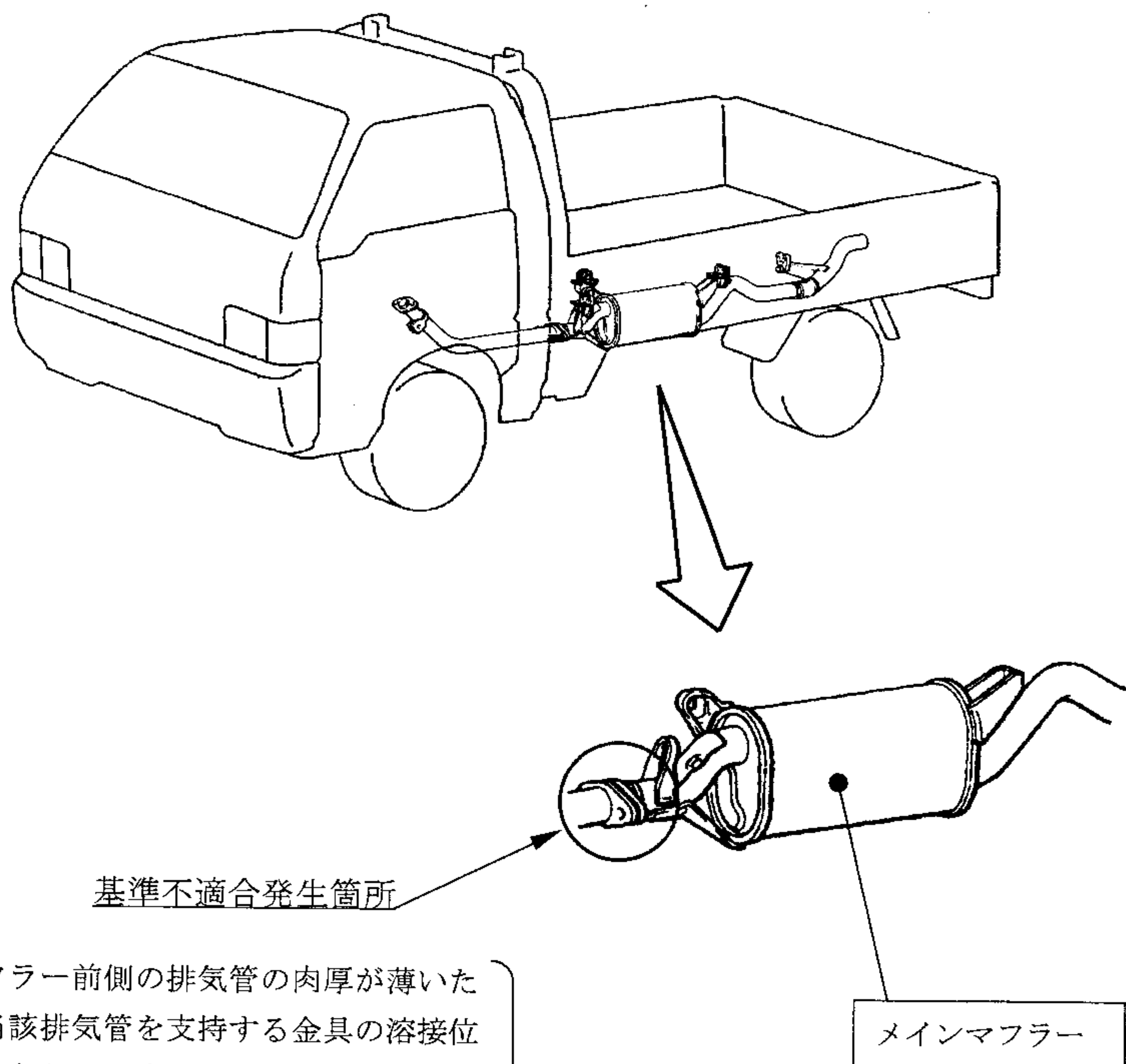


改善箇所説明図



メインマフラー前側の排気管の肉厚が薄いため、また当該排気管を支持する金具の溶接位置が不適切なため、走行中の振動に対する排気管の強度が不足しており、亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、排気管が折損し、騒音が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、メインマフラー一式を対策品と交換する。

(対策品の供給に時間を要することから、全使用者に不具合内容の周知を行い、後日、改善作業を実施する)

注： ☐ は交換部品を示す。

識別：助手席ドアローヒンジドア取付けボルト頭部に白色または黄色ペイントを塗布する。